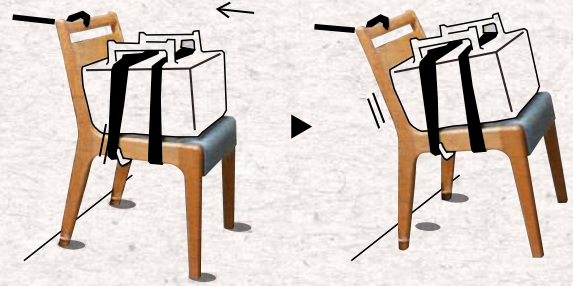


業界最高水準の耐久試験

オリバーでは業務用として使用することを想定して、家庭用チェアの旧JIS規格4,000回の3倍にあたる12,000回を自社基準とした業界最高水準の耐久試験を行っています。長期にわたって使用できる価値あるチェアづくりを実現していきます。



※右記二次元コードを読み込んでいただくと、右記の試験の動画がご覧になります。



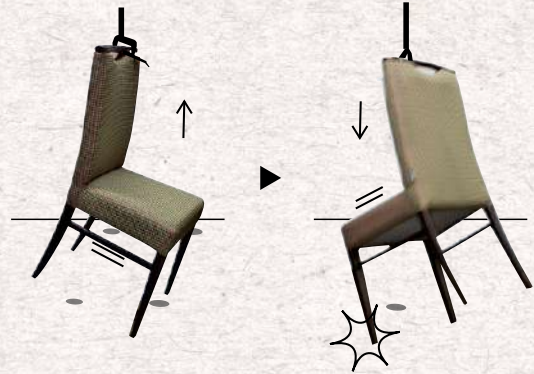
座に55kgのおもりを載せ、後脚を軸に前脚が50mm持ち上がるように背もたれを後ろに引っ張り落下させる。12,000回繰り返して不具合がなければ合格。

365回×3年間の落下衝撃試験

飲食店などで使用されるチェアは清掃時にはテーブルに上げ下ろしをします。オリバーでは実際の使用状況に即した独自の検査方法として、チェアを下ろすときの落下衝撃を1日1回と想定し、約3年間分の1,000回の落下衝撃試験を行っています。



※右記二次元コードを読み込んでいただくと、右記の試験の動画がご覧になります。



200mmの高さから片側の前脚が落ちるようにセッティングし落下させる。この動作を1,000回繰り返して不具合がなければ合格。

肘部の静的荷重試験

介護施設での使用を想定した検査として、福祉・医療の木製チェアの肘に直接負荷を与える耐久性試験を実施しています。材料強度の限界レベルともいえるJIS規格の中でも高いランクの数値を自社基準に設定した厳しい試験が、信頼性の高い製品づくりを支えています。



※右記二次元コードを読み込んでいただくと、右記の試験の動画がご覧になります。



肘の最も壊れやすい位置に垂直で1,000Nを10秒間、10回負担を加える。同じく水平に600Nを10秒間、10回負担を加える。不具合がなければ合格。